

## 有事に強い 味方が 加わりました



ライオンズクラブ国際協会 334-B(岐阜・三重)地区が、当年次大会記念事業として関市へ「災害機動車」を寄贈しました。機動車は、災害時での使用を目的にランドクルーザーを改造したもので、風水害時における悪天候な状況や、東日本大震災でも

見られた道路の劣悪な状況でも、いち早く災害現場に駆け付け、情報収集することができます。この車両は、後方支援の重要な役割を担う救命機動車「防災バス・あんしん号」と一体で運用し、万が一の時に活躍してくれることを期待します。

# あんな事、こんな事



関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」



## ゆるキャラたちも募金集め

東日本大震災の被災地復興を支援しようと、関市市民活動センターがサンサンシティマーゴで義援金の募金活動を行い、来店者に対し熱心に呼びかけました。「はもみん」や「ぶう」、「マーゴちゃん」たちキャラクターが応援に駆け付け、会場内で手を振ってかわいらしく寄付を呼びかけると、小さな子どもたちが母親と一緒に募金箱に義援金を入れていました。

## 魅力いっぱいの日本へぜひ来て

東日本大震災の影響などで海外からの観光客が減っていることを受け、県内の観光協会などでつくる誘客推進協議会が、台湾の旅行業者やメディアらに関市へ招き、観光の魅力や安全性をアピールしました。一行は、関鍛冶伝承館で「古式日本刀鍛錬」の様子を見学。刀匠熟練の技に感心していました。参加者は「これからも日本と交流を深めたい」と話していました。





## ハットリくんがやってきた

関市の姉妹都市であり、「忍者ハットリくん」などで有名な漫画家・藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>さんの出身地である富山県氷見市の観光協会ら一行が関市を訪問し、氷見市の宿泊施設で使える割引優待券を宣伝しました。この優待券は、11月末までの間、関市民が氷見市内の26の宿泊施設で、平日宿泊一人1,000円の割引引きが受けられるものです。優待券は、関市観光交流課で希望者に配布しています。

## 威勢よくにぎやかに舞う

「あんどんみこしコンクール」に参加する予定で、1年間かけて製作してきた桜ヶ丘小学校6年生児童のあんどんみこしが4月23日、保護者らの前で披露されました。コンクールは中止となりましたが、この力作をぜひ見てもらいたいとの思いで実施。児童らは、電飾や仕掛けなど工夫を凝らしたみこしを威勢のよい掛け声とともに元気いっぱい担ぐと、見守る保護者から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



## 板取でお遍路さん

板取地域で、地元の民家に祭られた「弘法さま」を巡礼する88カ所の霊場巡りがありました。毎年、弘法大師の命日にあたる日に各民家が縁側などに祭壇を作ってお供え物をし、ご利益を願い地域の方が家々を巡礼するものです。地域のお遍路さんは、無病息災などを祈りながら、巡礼後にお菓子や餅などをもらったりして、嬉しそうに手を合わせて参拝しました。

## 関市PRの礎に

ぎふ清流国体で、今年9月に県警察学校射撃場(希望ヶ丘)で開催されるライフル射撃リハーサル大会の選手や競技役員への弁当を審査するための試食会がありました。応募のあった2業者が、選手らが最高のコンディションで活躍できるよう栄養面・衛生面に配慮して制作。県産品を使い「岐阜・関らしさ」を盛り込んだ創意あふれる献立に、高評価を受けていました。



## こぼれ話



皆さんのお宅では住宅用火災警報器(以下、住警器)をもう取り付けましたか。既存住宅も、あと半月後の6月1日から設置が義務付けられます。わが家は2月に設置しましたがその時の話を少しだけ。

住警器を3つ(寝室と階段と台所)買い、楽な姿勢で作業できるよう、椅子より高い3段の踏み台の上で作業に臨みました。説明書を読むと、壁やエアコンから何センチ以上離すことなど書いてあります。どうせ取り付けるなら説明書に沿って正しく取り付けようと思い、まず寝

室の天井への設置に成功し、次に階段を上ったところに…と、説明書どおり壁から離すと設置場所がありません。しかし、天井へのこだわりと説明書に沿ってやろうというこだわりから何とか場所を見つけ、無理な体勢を取りながら設置しました。が、住警器の電池の寿命は10年で、交換が必要とのこと。10年、20年後にどうやって電池を交換しようかと考えると憂鬱な気分になりました。ちなみに設置が望ましいとされる台所には、適当な場所を見つけられず、まだ設置していません。皆さん、住警器は「壁に付ける」という選択も含めて計画的に設置しましょう。